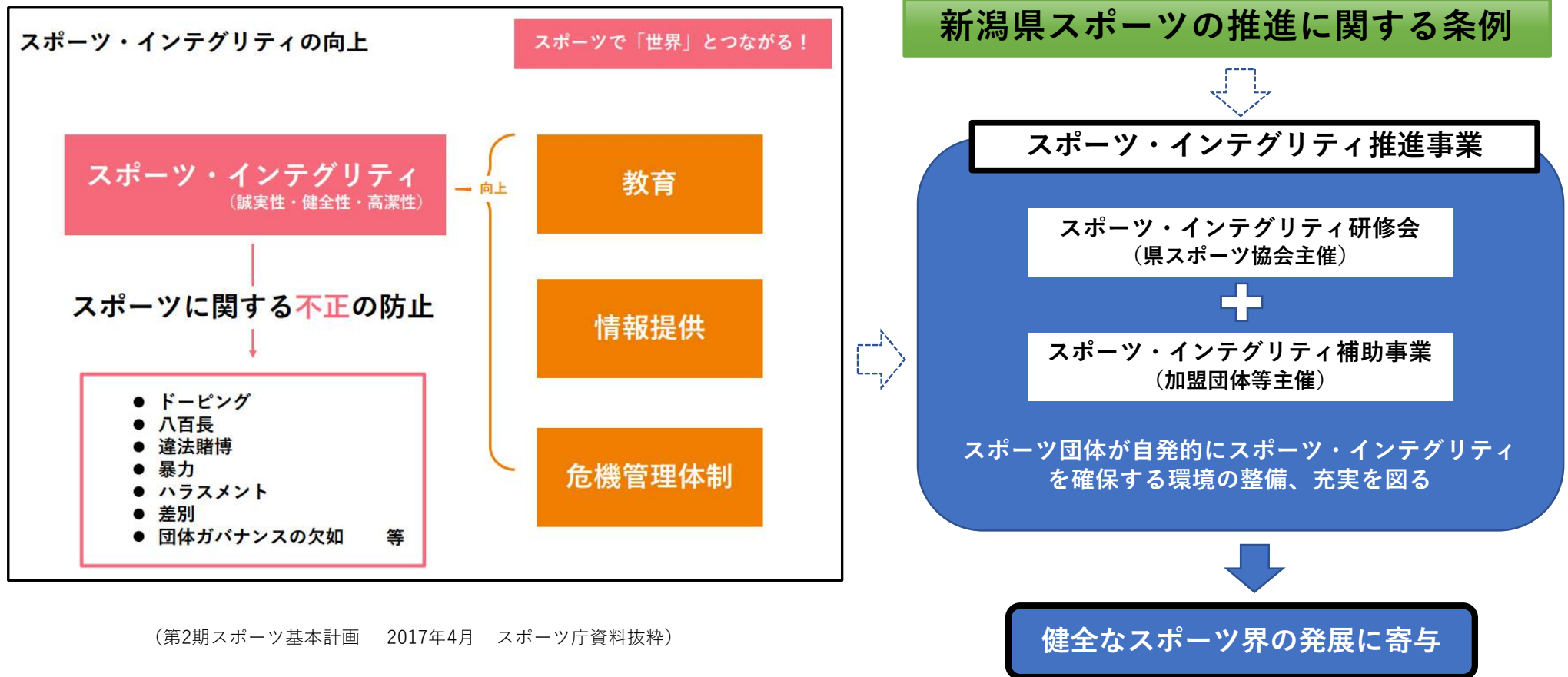


スポーツ・インテグリティ推進事業の概念図



参考：スポーツ・インテグリティ推進事業の用語解説等

用語	解説
スポーツ・インテグリティ	スポーツにおけるインテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）とは、必ずしも明確に定義されているとはいえないが、ドーピング、八百長、違法賭博、暴力、ハラスメント、差別、団体ガバナンスの欠如等の不正が無い状態であり、スポーツに携わる者が自らの規範意識に基づいて誠実に行動することにより実現されるものとして、国際的に重視されている概念である。 （国の第2期スポーツ基本計画から抜粋）
ガバナンス	団体統治・団体統制 組織を運営する方針やルールを決め、それらを組織内にあまねく行き渡らせて実行することで、適切かつ効率的な組織運営を行うこと （令和2年10月20日 スポーツ庁参事官（民間スポーツ担当）付 白川由梨氏 資料抜粋）
コンプライアンス	法令遵守 法令や内部規則を遵守すること、社会から求められる倫理・規範を守ること（同上）
スポーツ団体ガバナンスコード	スポーツの価値を毀損しかねない不祥事の発生を防ぎ、また、スポーツの価値を一層高めていくため、スポーツの普及・振興の重要な担い手となっているスポーツ団体の適正なガバナンスを確保することが必要不可欠です。 このような問題意識から、スポーツ庁では、平成30年12月に策定した「スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン」において、スポーツ団体が適切な組織運営を行うための原則・規範としてスポーツ団体ガバナンスコードを策定することとし、スポーツ審議会における審議を経た上で、中央競技団体（NF）向け及び一般スポーツ団体向けのガバナンスコードを策定いたしました。（スポーツ庁ウェブサイトから抜粋）
スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>	「スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>」は、中央競技団体以外のスポーツ団体が適切な組織運営を行う上での原則・規範を示すものです。各スポーツ団体においては、令和3年度以降、その遵守状況について、本ガバナンスコード別添のセルフチェックシートを活用していただき、自主的に自己説明・公表を行っていただきますよう、お願いします。 （スポーツ庁ウェブサイトから抜粋）

注記：「スポーツ・インテグリティ推進補助事業」にあたって、主な用語について（公財）新潟県スポーツ協会事務局が関連資料から抜粋したものであり、上記以外にも様々な解釈はある。